

授業科目 文化資源研究演習 I	単位 2 単位
授業担当者 久保正敏	授業期間 後期
授業の題目と概要 文化資源の情報モデル論、情報処理論、アーカイブズ論、知的財産権の議論、メディア・リテラシー論、などの講述と議論	
授業の内容と計画 以下の内容について、講述と議論を組み合わせ、受講生による課題の設定と発表形式を中心とするほか、国立民族学博物館はじめ総研大基盤機関の情報処理の現場、電子図書館、各種博物館、デジタル・アーカイブズ、マルチメディア・コンテンツ制作会社の見学及び実担当者との議論も組み合わせる。 民族情報学論 文化資源資料（言語・音声・画像・映像）の情報処理論 情報検索論と文化資源情報データベース構成論 文化資源の情報モデル論 研究分野固有の情報モデル：自然科学系と人文社会系 アーカイブズ及びデジタル・アーカイブズに関する議論 メディア・リテラシーに関する議論 情報と知的財産に関する議論	
使用する参考書、参考論文等 ◆ 久保正敏 『マルチメディア時代の起点 イメージからみるメディア』、日本放送出版協会、1996. ◆ Umesao Tadao, William W. Kelly, Kubo Masatoshi (eds.) <i>Japanese Civilization in the Modern World XIV: Information and Communication</i> (Senri Ethnological Studies 52), 2000. など。	
成績評価基準 自ら設定した課題の発表とレポートを最重要視する。	
その他の留意事項	